

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	単位	4 単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	1 年	1 組
使用教科書	LANDMARK English Communication I				
使用副教材	キクタンbasic				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

クラスメイトと情報や知識を共有しながら、お互いに確認しよう。

(2) 家庭

じっくり時間をかけて、文章を読んでみよう。文の構造も分析してみよう。こまめに単語帳を見て、より多くの単語を学ぼうと意識する。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- 1 考査得点(60%)：年5回の考査得点に基づく。
- 2 観点別評価(20%)：授業での各観点別評価に基づく。
- 3 小テスト(10%)：単語testの点数に基づく。
- 4 提出物(10%)：授業で提示される課題の提出状況に基づく。

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。また、その構文を用いて各Lessonのテーマについてクラスメイトとインタビューややりとりなどをし、その内容の発表や伝える文章を書く技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

各Lessonのテーマについてクラスメイトに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。自分の気持ちや考えを整理し、述べる文章を書いている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

各Lessonのテーマについてクラスメイトに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表しようとしている。与えられた論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	lesson 1	Enjoy Your Journey!	○	○	○	
	5	lesson 2	Curry Travels around the World	○	○	○	
	6	lesson 3	School Uniforms	○	○	○	
	7	lesson 4	Reading 1 Encyclopedia Brown	○	○	○	
			Eco-Tour on Yakushima	○	○	○	
		lesson 5	Bailey the Facility Dog	○	○	○	
	8	lesson 6	Communication without Words	○	○	○	
	9	lesson 7	Dear World: Bana's War	○	○	○	
			Reading 2 Enjoy Food with Your Five Senses!	○	○	○	
	10	lesson 8	The Best Education to Everyone, Everywhere	○	○	○	
		lesson 9	Space Elevator	○	○	○	
	11	高2先取り学習	Reading 3: High level reading	○	○	○	
	12	高2先取り学習	Writing 1	○	○	○	
	1	高2先取り学習	Writing 2	○	○	○	
	2	高2先取り学習	Speaking 1	○	○	○	
3	高2先取り学習	Speaking 2	○	○	○		

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	単位	4 単位
対象コース	進学	コース	対象クラス	1 年	2 組
使用教科書	LANDMARK English Communication I				
使用副教材	5-Stage英文法Book 1、ユメタン①他				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 クラスメイトと教え合いながら、声に出して練習しよう。 (2) 家庭 じっくり時間をかけて、文章を読んでみよう。文の構造も分析してみよう。こまめに単語帳を見て、より多くの単語を学ぼう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか 1 考查得点(60%)：年5回の考查得点に基づく。 2 観点別評価(20%)：授業での各観点別評価に基づく。 3 小テスト(10%)：単語testの点数に基づく。 4 提出物(10%)：授業で提示される課題の提出状況に基づく。
評価における定期考查の割合 60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 知識・技能 各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。また、その構文を用いて各Lessonのテーマについてクラスメイトとインタビューややりとりなどをし、その内容の発表や伝える文章を書く技能を身につけている。 (2) 思考・判断・表現 各Lessonのテーマについてクラスメイトに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。自分の気持ちや考えを整理し、述べる文章を書いている。 (3) 主体的に学習に取り組む態度 各Lessonのテーマについてクラスメイトに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表しようとしている。与えられた論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1		Landmark English communication I					
	4	Lesson 1	Enjoy your Journey! 目標・挑戦	○	○	○	
	5			○	○	○	
	6	Lesson 2	Curry Travels around the world 食文化・歴史	○	○	○	
	7	Lesson 3	School Uniforms 学校・比較文化	○	○	○	
	8	Lesson 4	Eco-Tour on Yakushima 自然・観光	○	○	○	
	9	Lesson 5	Bailey the Facility Dog 動物・医療	○	○	○	
	10	Lesson 6	Communication with out words 異文化・コミュニケーション	○	○	○	
	11	Lesson 7	Dear world: Bana's war SNS・平和	○	○	○	
	12	Lesson 8	The best education to everyone everywhere 社会貢献・教育	○	○	○	
	1			○	○	○	
	2	Lesson 9	Space Elevator 宇宙・化学	○	○	○	
	3	Lesson 10	Friendship over time 歴史・友情	○	○	○	

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	単位	3 単位
対象コース	総合、美術	コース	対象クラス	1 年	3~7 組
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)				
使用副教材	LANDMARK Fit English Communication I サブノート、ワークブック (啓林館) 新ユメタンO (アルク)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用したり、様々な話題に

ついて英語で情報や考えなどの要点などを理解・伝え合ったりしたり、背景にある文化について理解を深め、情報を受け取る側に配慮しながら主体的・自律的にコミュニケーションを図ることをする態度を身に付ける

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

日常的・社会的な話題について、上記に示した五つの領域別、または複数の領域にまたがった活動や実際のコミュニケーションを通じて、情報や考えを理由や根拠と共にくみ取ったり、自分の意見を発信したりする。この際、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための時間が多くとられたりする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

各パートや単語帳を、文章や単語の日本語訳を見ながら音読できるように様々な方法で繰り返し読む。また、各文の構成が解説されたプリントを読み、分からない場合や複雑な場合は教員の補足を聞き、メモをする。

(2) 家庭

・サブノートを使用し、予習を行う。また、解説プリントを読み、自分の言葉でもう一度まとめ直す。
・教科書や単語帳に記載されているQRコードを読み取り、ネイティブによる音声を聞きながら音読をする。文章の場合は、発音やスピードにも気をつける。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- ・各定期考査の点数
- ・月曜日の単語テスト
- ・サブノートをはじめとした提出物の提出状況
- ・各パートごとに行われる小テスト
- ・音読へ取り組む姿勢

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

- A 文章を読んで、適切に内容をくみ取ることができた。
- B 文章を読んで、大まかではあるが内容をくみ取ることができた。
- C 文章を読んで、内容をくみ取ることがあまりできなかった。

(2) 思考・判断・表現

- A 内容に対する自分の考えを適切に表現することができた。
- B 内容に対する自分の考えをおおむね表現することができた。
- C 内容に対する自分の考えをあまり表現できなかった。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- A 音読練習や提出物へ積極的に取り組むことができた。
- B 音読練習や提出物に対し、受動的にはあるが取り組むことができた。
- C 音読練習や提出物への取り組みがあまり見られなかった。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×	
1	4	Lesson 1 Enjoy Your Jouney!	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、自分が高校生活やその先にやりたいことを明文化し、発表する。 不定詞の名詞用法と副詞用法、動名詞を理解し、活用する。 	○	○	○		
	5	 第1回考査		○	○	○		
	6	Lesson 2 Curry Travels around the World		<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、カレーが日本まで辿り着く経緯や、日本で発達した独自の料理を知り、自分たちでオリジナルのレシピを考える。 受動態と現在完了形を理解し、活用する。 	○	○	○	
		Lesson 3 School Uniforms		<ul style="list-style-type: none"> 各国の制服事情に関する文章を読んで、自分たちは制服を支持するか否かを考え、発表する。 比較級、分詞修飾、関係代名詞thatを理解し、活用する。 	○	○	○	
		第2回考査		○	○			
	7	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima		<ul style="list-style-type: none"> 屋久島の紹介文を読んで、日本の世界遺産を調べ、行きたい場所を発表する。 関係代名詞what、関係副詞why・where・whenを理解し、活用する。 	○	○	○	
	8	 			○	○	○	
	9	Lesson 5 Bailey the Facility Dog		<ul style="list-style-type: none"> ファシリティドッグについての文章を読み、病院におけるその活用についての自分の意見を発表する。 原形不定詞やifを用いた間接疑問文を理解し、活用する。 	○	○	○	
		 			○	○		
		第3回考査		○	○			
10	Lesson 6 Communication without Words	<ul style="list-style-type: none"> 言語を介さないコミュニケーション手法についての文章を読み、自分のしぐさが相手に不快な思いをさせていないかについて考え、よりよいコミュニケーションについて考え、発表する。 形式目的語や間接疑問文を理解し、活用する。 	○	○	○			
	 	○	○	○				

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
2	11	Lesson 7 Dear World: Bana's War	<ul style="list-style-type: none"> ・シリアの少女がインターネットを介して世界に投げかけた平和への訴えに関する文章を読んで、平和に対する考えを发表する。 ・分詞構文と関係詞の非限定用法を理解し、活用する。 	○	○	○	
		 					
		第4回考査					
3	1	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	<ul style="list-style-type: none"> ・社会起業家についての文章を読み、自分の将来就きたい仕事に就いて发表する。 ・過去完了と仮定法過去について理解し、活用する。 	○	○	○	
		 					
		第5回考査					
3	2	Optional Lesson 1 Space Elevator	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙と地上を繋ぐエレベーターについての文章を読み、環境問題についての自分の意見を发表する。 	○	○	○	
		 					
		第5回考査					
3	3	Optional Lesson 2 Friendship over Time	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とトルコの時代を超えた友好関係についての文章を読み、友好関係の重要性について发表する。 	○	○	○	
							

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	単位	3 単位
対象コース	総合、美術	コース	対象クラス	1 年	3~7 組
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)				
使用副教材	LANDMARK Fit English Communication I サブノート、ワークブック (啓林館) 新ユメタンO (アルク)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用したり、様々な話題について英語で情報や考えなどの要点などを理解・伝え合ったりしたり、背景にある文化について理解を深め、情報を受け取る側に配慮しながら主体的・自律的にコミュニケーションを図ることとする態度を身に付ける。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>日常的・社会的な話題について、上記に示した五つの領域別、または複数の領域にまたがった活動や実際のコミュニケーションを通じて、情報や考えを理由や根拠と共にくみ取ったり、自分の意見を発信したりする。この際、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための時間が多くとられたりする。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 各パートや単語帳を、文章や単語の日本語訳を見ながら音読できるように様々な方法で繰り返し読む。また、各文の構成が解説されたプリントを読み、分からない場合や複雑な場合は教員の補足を聞き、メモをする。</p> <p>(2) 家庭 ・サブノートを使用し、予習を行う。また、解説プリントを読み、自分の言葉でもう一度まとめ直す。 ・教科書や単語帳に記載されているQRコードを読み取り、ネイティブによる音声を聞きながら音読をする。文章の場合は、発音やスピードにも気をつける。</p>

3 この科目の評価方法について

<p>評価方法：何を使って評価するのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各定期考査の点数 ・月曜日の単語テスト ・サブノートをはじめとした提出物の提出状況 ・各パートごとに行われる小テスト ・音読へ取り組む姿勢
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>60 %</p>

4 この科目の評価の観点について

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 知識・技能</p> <p>A 文章を読んで、適切に内容をくみ取ることができた。 B 文章を読んで、大まかではあるが内容をくみ取ることができた。 C 文章を読んで、内容をくみ取ることがあまりできなかった。</p> <p>(2) 思考・判断・表現</p> <p>A 内容に対する自分の考えを適切に表現することができた。 B 内容に対する自分の考えをおおむね表現することができた。 C 内容に対する自分の考えをあまり表現できなかった。</p> <p>(3) 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>A 音読練習や提出物へ積極的に取り組むことができた。 B 音読練習や提出物に対し、受動的にはあるが取り組むことができた。 C 音読練習や提出物への取り組みがあまり見られなかった。</p>

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×	
1	4	Lesson 1 Enjoy Your Jouney!	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、自分が高校生活やその先にやりたいことを明文化し、発表する。 不定詞の名詞用法と副詞用法、動名詞を理解し、活用する。 	○	○	○		
	5	 第1回考査		○	○	○		
	6	Lesson 2 Curry Travels around the World		<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、カレーが日本まで辿り着く経緯や、日本で発達した独自の料理を知り、自分たちでオリジナルのレシピを考える。 受動態と現在完了形を理解し、活用する。 	○	○	○	
		Lesson 3 School Uniforms		<ul style="list-style-type: none"> 各国の制服事情に関する文章を読んで、自分たちは制服を支持するか否かを考え、発表する。 比較級、分詞修飾、関係代名詞thatを理解し、活用する。 	○	○	○	
		第2回考査		○	○			
	7	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima		<ul style="list-style-type: none"> 屋久島の紹介文を読んで、日本の世界遺産を調べ、行きたい場所を発表する。 関係代名詞what、関係副詞why・where・whenを理解し、活用する。 	○	○	○	
	8	 			○	○	○	
	9	Lesson 5 Bailey the Facility Dog		<ul style="list-style-type: none"> ファシリティドッグについての文章を読み、病院におけるその活用についての自分の意見を発表する。 原形不定詞やifを用いた間接疑問文を理解し、活用する。 	○	○	○	
		 			○	○		
		第3回考査		○	○			
10	Lesson 6 Communication without Words	<ul style="list-style-type: none"> 言語を介さないコミュニケーション手法についての文章を読み、自分のしぐさが相手に不快な思いをさせていないかについて考え、よりよいコミュニケーションについて考え、発表する。 形式目的語や間接疑問文を理解し、活用する。 	○	○	○			
	 	○	○	○				

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
2	11	Lesson 7 Dear World: Bana's War	<ul style="list-style-type: none"> ・シリアの少女がインターネットを介して世界に投げかけた平和への訴えに関する文章を読んで、平和に対する考えを发表する。 ・分詞構文と関係詞の非限定用法を理解し、活用する。 	○	○	○	
		 					
		第4回考査					
3	1	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	<ul style="list-style-type: none"> ・社会起業家についての文章を読み、自分の将来就きたい仕事に就いて发表する。 ・過去完了と仮定法過去について理解し、活用する。 	○	○	○	
		 					
		第5回考査					
3	2	Optional Lesson 1 Space Elevator	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙と地上を繋ぐエレベーターについての文章を読み、環境問題についての自分の意見を发表する。 	○	○	○	
		 					
		第5回考査					
3	3	Optional Lesson 2 Friendship over Time	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とトルコの時代を超えた友好関係についての文章を読み、友好関係の重要性について发表する。 	○	○	○	
							

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	論理・表現 I	単位	2 単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	1 年	1 組
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard				
使用副教材	EARTHRISE 活用ノート, EARTHRISE ワークブック				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

日常的な話題、社会的な話題について、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばす。また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

話すこと [やりとり]、話すこと [発表]：聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情

報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

書くこと：聞き取った内容を分析して、論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるように

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

さまざまな表現方法を身につけ、練習問題で定着させる。また、与えられた主題について論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- 1 考査得点 (60%)：年5回の考査得点に基づく。
- 2 観点別評価 (20%)：授業での各観点別評価に基づく。
- 3 小テスト (10%)：レッスンごとに行う小テストの点数に基づく。
- 4 提出物 (10%)：授業で提示される課題の提出状況に基づく。

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。また、その構文を用いて各Lessonのテーマについてクラスメートとインタビューややりとりなどをし、その内容の発表や伝える文章を書く技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。自分の気持ちや考えを整理し、述べる文章を書いている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表しようとしている。与えられた論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	はじめに 英語の語順, 品詞	英文の基本構造 (S+V...), 各品詞	○			
	5	Lesson 1 Introduce yourself to your class 5 文型	・各文型の用法を理解し, 友人や自分を紹介する文章を書く技能を身につける。また, その内容を整理し, クラスで発表する。 ・「友だちを作る効果的な方法」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第 1 回 考査			○	○	○
	6	Lesson 2 How do you spend your weekends? 時を表す (現在・過去・未来)	・各時制の用法を理解し, 週末にしたことや休日の予定についてやりとりをし, その内容を伝える文章を書き発表する。 ・「インターネットの使用に時間を使いすぎること」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		Lesson 3 Where did you go on vacation? 時を表す (完了形)	・完了形の用法を理解し, 自分が行ったことがある場所について伝え合い, その内容や自分の気持ちを伝える文章を書き発表する。 ・「旅行をするときに使う交通手段」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	 第 2 回 考査			○	○	○	
	7	Lesson 4 How can I get there? 能力・許可・義務などを表す (助動詞)	・助動詞の意味と用法を理解し, ルート案内の会話をする技能を身につける。また, 謝罪する気持ちを整理しメール文を書く。 ・「公共の場に監視カメラを設置すること」についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
2	8	Lesson 5 Would you like to come with me?	・助動詞の意味と用法を理解し, イベントに友人を誘う技能を身につける。また, 後悔した気持ちを整理し友人に伝える文章を書く。	○	○	○	
	9	依頼・勧誘・推量などを表す (助動詞)	・「高校生はクラブに入るべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	Lesson 6 Something really Japanese 「~される」を表す (受動態)	・受動態の意味と用法を理解し, 選んだ商品を伝える技能を身につける。また, 交換留学生を誘う祭の情報を整理し, メールを書く。 ・「観光客をひきつける日本」という論題についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○		
第 3 回 考査				○	○	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	10	Lesson 7 Do you do any volunteer activities? 「～すること」などを表す (to do)	・ to doの意味と用法を理解し、自分が参加するボランティア活動について伝え合う。また、自分の将来についてのレポートを書く。 ・ 「高校で設けるボランティア・デー」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		  					
	11	Lesson 8 Let's enjoy school life! to do/ do を使って表す (知覚動詞・使役動詞)	・ want～to doや知覚動詞の意味と用法を理解し、部活動に関するインタビューをする。また、過去に行われた学校行事について報告する文章を書く。 ・ 「学園祭に多くの人を集めるためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第4回考査					
	12	Lesson 9 Are you eco-friendly? 「～すること」を表す (動名詞)	・ doing の意味と用法を理解し、環境保護のためにしていることを伝え合い、発表する。また、自分の考えた環境保護スローガンを発表するための情報を述べる文章を書く。 ・ 「多くの人エコバッグを持ち歩くようにするためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		 					
3	1	Lesson 10 What sports do you like? doing/done を使って説明する (1) (分詞の限定用法と叙述用法)	・ 分詞の限定用法、叙述用法の意味と用法を理解し、スポーツイベントについてインタビューする技能を身につけている。また、自分が最近したスポーツについての情報や気持ちを述べる文章を書く。 ・ 「多くの日本人選手が海外チームでプレイすべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	2	Lesson 11 That's new to me! doing/done を使って説明する (2) (see～doingと分詞構文)	・ see～ing と分詞構文の意味と用法を理解し、外国の労働時間や祝日の数について話し合い、その内容を発表する技能を身につけている。また、野菜とくだもの違いについての情報を紹介する文章を書く。 ・ 「健康維持とストレス軽減の最善の方法」についての自分の考えを理由とともに伝え、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第5回考査					

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	3	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 人や物について説明する (who, which)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞の意味と用法を理解し，日本人ノーベル賞受賞者についてやりとりをし，その内容を発表する技能を身につけている。また，自分の尊敬する人についての情報や考えを述べる文章を書く。 ・ 「AIは社会にとって有益だ」という論題についての自分の考えを理由とともに伝え，相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
				○	○	○	

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	論理・表現 I	単位	2 単位
対象コース	進学	コース	対象クラス	1 年	2, 3 組
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard				
使用副教材	EARTHRISE 活用ノート, ワークブック				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

日常的な話題、社会的な話題について、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばす。また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

話すこと [やりとり]、話すこと [発表]：聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情

報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

書くこと：聞き取った内容を分析して、論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるように

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

さまざまな表現方法を身につけ、練習問題で定着させる。また、与えられた主題について論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何をを使って評価するのか

- 1 考査得点 (60%)：年5回の考査得点に基づく。
- 2 観点別評価 (20%)：授業での各観点別評価に基づく。
- 3 小テスト (10%)：レッスンごとに行う小テストの点数に基づく。
- 4 提出物 (10%)：授業で提示される課題の提出状況に基づく。

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。また、その構文を用いて各Lessonのテーマについてクラスメートとインタビューややりとりなどをし、その内容の発表や伝える文章を書く技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。自分の気持ちや考えを整理し、述べる文章を書いている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表しようとしている。与えられた論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	はじめに 英語の語順, 品詞	英文の基本構造 (S+V...), 各品詞	○			
	5	Lesson 1 Introduce yourself to your class 5 文型	・各文型の用法を理解し, 友人や自分を紹介する文章を書く技能を身につける。また, その内容を整理し, クラスで発表する。 ・「友だちを作る効果的な方法」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第 1 回 考査			○	○	○
	6	Lesson 2 How do you spend your weekends? 時を表す (現在・過去・未来)	・各時制の用法を理解し, 週末にしたことや休日の予定についてやりとりをし, その内容を伝える文章を書き発表する。 ・「インターネットの使用に時間を使いすぎること」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		Lesson 3 Where did you go on vacation? 時を表す (完了形)	・完了形の用法を理解し, 自分が行ったことがある場所について伝え合い, その内容や自分の気持ちを伝える文章を書き発表する。 ・「旅行をするときに使う交通手段」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	 第 2 回 考査			○	○	○	
	7	Lesson 4 How can I get there? 能力・許可・義務などを表す (助動詞)	・助動詞の意味と用法を理解し, ルート案内の会話をする技能を身につける。また, 謝罪する気持ちを整理しメール文を書く。 ・「公共の場に監視カメラを設置すること」についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
2	8	Lesson 5 Would you like to come with me?	・助動詞の意味と用法を理解し, イベントに友人を誘う技能を身につける。また, 後悔した気持ちを整理し友人に伝える文章を書く。	○	○	○	
	9	依頼・勧誘・推量などを表す (助動詞)	・「高校生はクラブに入るべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	Lesson 6 Something really Japanese 「~される」を表す (受動態)	・受動態の意味と用法を理解し, 選んだ商品を伝える技能を身につける。また, 交換留学生を誘う祭の情報を整理し, メールを書く。 ・「観光客をひきつける日本」という論題についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○		
第 3 回 考査				○	○	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	10	Lesson 7 Do you do any volunteer activities? 「～すること」などを表す (to do)	・ to doの意味と用法を理解し、自分が参加するボランティア活動について伝え合う。また、自分の将来についてのレポートを書く。 ・ 「高校で設けるボランティア・デー」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		  		○	○	○	
	11	Lesson 8 Let's enjoy school life! to do/ do を使って表す (知覚動詞・使役動詞)	・ want～to doや知覚動詞の意味と用法を理解し、部活動に関するインタビューをする。また、過去に行われた学校行事について報告する文章を書く。 ・ 「学園祭に多くの人を集めるためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第4回考査		○	○	○	
	12	Lesson 9 Are you eco-friendly? 「～すること」を表す (動名詞)	・ doing の意味と用法を理解し、環境保護のためにしていることを伝え合い、発表する。また、自分の考えた環境保護スローガンを発表するための情報を述べる文章を書く。 ・ 「多くの人エコバッグを持ち歩くようにするためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		 		○	○	○	
3	1	Lesson 10 What sports do you like? doing/done を使って説明する (1) (分詞の限定用法と叙述用法)	・ 分詞の限定用法、叙述用法の意味と用法を理解し、スポーツイベントについてインタビューする技能を身につけている。また、自分が最近したスポーツについての情報や気持ちを述べる文章を書く。 ・ 「多くの日本人選手が海外チームでプレイすべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	2	Lesson 11 That's new to me! doing/done を使って説明する (2) (see～doingと分詞構文)	・ see～ing と分詞構文の意味と用法を理解し、外国の労働時間や祝日の数について話し合い、その内容を発表する技能を身につけている。また、野菜とくだもの違いについての情報を紹介する文章を書く。 ・ 「健康維持とストレス軽減の最善の方法」についての自分の考えを理由とともに伝え、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第5回考査		○	○	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	3	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 人や物について説明する (who, which)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞の意味と用法を理解し，日本人ノーベル賞受賞者についてやりとりをし，その内容を発表する技能を身につけている。また，自分の尊敬する人についての情報や考えを述べる文章を書く。 ・ 「AIは社会にとって有益だ」という論題についての自分の考えを理由とともに伝え，相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
				○	○	○	

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	論理・表現 I	単位	2 単位
対象コース	総合	コース	対象クラス	1 年	4, 5, 6, 7 組
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard				
使用副教材	EARTHRISE 活用ノート, チャート式 EARTHRISE				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

日常的な話題、社会的な話題について、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばす。また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

話すこと [やりとり]、話すこと [発表]：聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情

報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

書くこと：聞き取った内容を分析して、論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるように

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

さまざまな表現方法を身につけ、練習問題で定着させる。また、与えられた主題について論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何をを使って評価するのか

- 1 考査得点 (60%)：年5回の考査得点に基づく。
- 2 観点別評価 (20%)：授業での各観点別評価に基づく。
- 3 小テスト (10%)：レッスンごとに行う小テストの点数に基づく。
- 4 提出物 (10%)：授業で提示される課題の提出状況に基づく。

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。また、その構文を用いて各Lessonのテーマについてクラスメートとインタビューややりとりなどをし、その内容の発表や伝える文章を書く技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。自分の気持ちや考えを整理し、述べる文章を書いている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表しようとしている。与えられた論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	はじめに 英語の語順, 品詞	英文の基本構造 (S+V...), 各品詞	○			
	5	Lesson 1 Introduce yourself to your class 5 文型	・各文型の用法を理解し, 友人や自分を紹介する文章を書く技能を身につける。また, その内容を整理し, クラスで発表する。 ・「友だちを作る効果的な方法」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第 1 回 考査			○	○	○
	6	Lesson 2 How do you spend your weekends? 時を表す (現在・過去・未来)	・各時制の用法を理解し, 週末にしたことや休日の予定についてやりとりをし, その内容を伝える文章を書き発表する。 ・「インターネットの使用に時間を使いすぎること」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		Lesson 3 Where did you go on vacation? 時を表す (完了形)	・完了形の用法を理解し, 自分が行ったことがある場所について伝え合い, その内容や自分の気持ちを伝える文章を書き発表する。 ・「旅行をするときに使う交通手段」について, 自分の考えを伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	 第 2 回 考査			○	○	○	
	7	Lesson 4 How can I get there? 能力・許可・義務などを表す (助動詞)	・助動詞の意味と用法を理解し, ルート案内の会話をする技能を身につける。また, 謝罪する気持ちを整理しメール文を書く。 ・「公共の場に監視カメラを設置すること」についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
2	8	Lesson 5 Would you like to come with me?	・助動詞の意味と用法を理解し, イベントに友人を誘う技能を身につける。また, 後悔した気持ちを整理し友人に伝える文章を書く。	○	○	○	
	9	依頼・勧誘・推量などを表す (助動詞)	・「高校生はクラブに入るべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	Lesson 6 Something really Japanese 「~される」を表す (受動態)	・受動態の意味と用法を理解し, 選んだ商品を伝える技能を身につける。また, 交換留学生を誘う祭の情報を整理し, メールを書く。 ・「観光客をひきつける日本」という論題についての考えを理由とともに伝えたり, 相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○		
第 3 回 考査				○	○	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	10	Lesson 7 Do you do any volunteer activities? 「～すること」などを表す (to do)	・ to do の意味と用法を理解し、自分が参加するボランティア活動について伝え合う。また、自分の将来についてのレポートを書く。 ・ 「高校で設けるボランティア・デー」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		  		○	○	○	
	11	Lesson 8 Let's enjoy school life! to do/ do を使って表す (知覚動詞・使役動詞)	・ want～to do や知覚動詞の意味と用法を理解し、部活動に関するインタビューをする。また、過去に行われた学校行事について報告する文章を書く。 ・ 「学園祭に多くの人を集めるためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	第4回考査			○	○	○	
	12	Lesson 9 Are you eco-friendly? 「～すること」を表す (動名詞)	・ doing の意味と用法を理解し、環境保護のためにしていることを伝え合い、発表する。また、自分の考えた環境保護スローガンを発表するための情報を述べる文章を書く。 ・ 「多くの人エコバッグを持ち歩くようにするためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		 		○	○	○	
3	1	Lesson 10 What sports do you like? doing/done を使って説明する (1) (分詞の限定用法と叙述用法)	・ 分詞の限定用法、叙述用法の意味と用法を理解し、スポーツイベントについてインタビューする技能を身につけている。また、自分が最近したスポーツについての情報や気持ちを述べる文章を書く。 ・ 「多くの日本人選手が海外チームでプレイすべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
	2	Lesson 11 That's new to me! doing/done を使って説明する (2) (see～doing と分詞構文)	・ see～ing と分詞構文の意味と用法を理解し、外国の労働時間や祝日の数について話し合い、その内容を発表する技能を身につけている。また、野菜とくだもの違いについての情報を紹介する文章を書く。 ・ 「健康維持とストレス軽減の最善の方法」についての自分の考えを理由とともに伝え、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	
		第5回考査		○	○	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	3	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 人や物について説明する (who, which)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞の意味と用法を理解し，日本人ノーベル賞受賞者についてやりとりをし，その内容を発表する技能を身につけている。また，自分の尊敬する人についての情報や考えを述べる文章を書く。 ・ 「AIは社会にとって有益だ」という論題についての自分の考えを理由とともに伝え，相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
				○	○	○	

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	論理・表現 I	単位	2 単位
対象コース	美術	コース	対象クラス	1 年	8・9 組
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard(数研出版)				
使用副教材	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard(数研出版) アースライズ総合英語 (数研出版) 徹底反復シリーズ5-STAGE 英文法完成BOOK1 (数研出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、特に話すことに関する二つと「書くこと」の三つの領域を重点的に行い、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える、または伝え合うことなどができるようになる。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>英語の特徴や決まりを理解して「知識」にするだけではなく、それを実際のコミュニケーションの場面で活用できる「技能」を身に付ける。その際、様々な場面で自分の意見を論理的に組み立てる方法や、情報や考えを効果的に伝える表現について学ぶ。また、活動は、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら行われる。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 自分が準備してきたものを、実際に他者とコミュニケーションして、伝えることができるかどうかを実践する。そして、互いに良かった点や改善点などをフィードバックし合う。</p> <p>(2) 家庭 ・活用ノートを使い、自分の意見などを書いてくる。 ・毎日5-STAGEに取り組む、基本的な文法事項を定着させる。</p>

3 この科目の評価方法について

<p>評価方法：何を使って評価するのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各定期考査の点数 ・授業における作文などのアウトプット活動 ・活用ノート、5-STAGEをはじめとした提出物の提出状況 ・各レッスンで行われる発表 ・音読へ取り組む姿勢
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>60 %</p>

4 この科目の評価の観点について

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 知識・技能</p> <p>A 適切な文法を使って、他者とコミュニケーションすることができた。</p> <p>B 適切な文法の使用、他者とのコミュニケーションのうちいずれかができなかった。</p> <p>C 適切な文法を使えず、他者とコミュニケーションも取れなかった。</p> <p>(2) 思考・判断・表現</p> <p>A 場面や状況に応じた適切な表現を即興的に行うことができた。</p> <p>B 場面や状況に応じた適切な表現を少し考えて行うことができた。</p> <p>C 場面や状況に応じた適切な表現をすることができなかった。。</p> <p>(3) 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>A 他者とのコミュニケーションを積極的に行い、情報や考えを伝えあうことができた。</p> <p>B 他者とのコミュニケーションを行い、少しではあるが情報や考えを伝えることができた。</p> <p>C 他者とのコミュニケーションができず、情報や考えを伝えられなかった。</p>

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	
1	4	はじめに 英語の語順、品詞	英文の基本構造 (S+V...), 各品詞	○			
	5	Lesson 1 Introduce yourself to your class 5 文型	<ul style="list-style-type: none"> 各文型の用法を理解し、友人や自分を紹介する文章を書く技能を身につける。また、その内容を整理し、クラスで発表する。 「友だちを作る効果的な方法」について、自分の考えを伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
		第 1 回考査		○	○	○	
	6	Lesson 2 How do you spend your weekends? 時を表す (現在・過去・未来)	<ul style="list-style-type: none"> 各時制の用法を理解し、週末にしたことや休日の予定についてやりとりをし、その内容を伝える文章を書き発表する。 「インターネットの使用に時間を使いすぎること」について、自分の考えを伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
		Lesson 3 Where did you go on vacation? 時を表す (完了形)		<ul style="list-style-type: none"> 完了形の用法を理解し、自分が行ったことがある場所について伝え合い、その内容や自分の気持ちを伝える文章を書き発表する。 「旅行をするときに使う交通手段」について、自分の考えを伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○
			第 2 回考査				
	7	Lesson 4 How can I get there? 能力・許可・義務などを表す (助動詞)	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の意味と用法を理解し、ルート案内の会話をする技能を身につける。また、謝罪する気持ちを整理しメール文を書く。 「公共の場に監視カメラを設置すること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
2	8	Lesson 5 Would you like to come with me?	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の意味と用法を理解し、イベントに友人を誘う技能を身につける。また、後悔した気持ちを整理し友人に伝える文章を書く。 「高校生はクラブに入るべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
	9	依頼・勧誘・推量などを表す (助動詞)		○	○	○	
		Lesson 6 Something really Japanese 「～される」を表す (受動態)	<ul style="list-style-type: none"> 受動態の意味と用法を理解し、選んだ商品を伝える技能を身につける。また、交換留学生を誘う祭の情報を整理し、メールを書く。 「観光客をひきつける日本」という論題についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○	
第 3 回考査							

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点		
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主
3	10	Lesson 7 Do you do any volunteer activities? 「～すること」などを表す (to do)   	・ to doの意味と用法を理解し、自分が参加するボランティア活動について伝え合う。また、自分の将来についてのレポートを書く。 ・ 「高校で設けるボランティア・デー」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○
	11	Lesson 8 Let's enjoy school life! to do/ do を使って表す (知覚動詞・使役動詞) 第4回考査	・ want～to doや知覚動詞の意味と用法を理解し、部活動に関するインタビューをする。また、過去に行われた学校行事について報告する文章を書く。 ・ 「学園祭に多くの人を集めるためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○
	12	Lesson 9 Are you eco-friendly? 「～すること」を表す (動名詞)  	・ doing の意味と用法を理解し、環境保護のためにしていることを伝え合い、発表する。また、自分の考えた環境保護スローガンを発表するための情報を述べる文章を書く。 ・ 「多くの人々がエコバッグを持ち歩くようにするためにできること」についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○
	1	Lesson 10 What sports do you like? doing/done を使って説明する (1) (分詞の限定用法と叙述用法)	・ 分詞の限定用法、叙述用法の意味と用法を理解し、スポーツイベントについてインタビューする技能を身につけている。また、自分が最近したスポーツについての情報や気持ちを述べる文章を書く。 ・ 「多くの日本人選手が海外チームでプレイすべきだ」という論題についての考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○
	2	Lesson 11 That's new to me! doing/done を使って説明する (2) (see～doingと分詞構文) 第5回考査	・ see～ing と分詞構文の意味と用法を理解し、外国の労働時間や祝日の数について話し合い、その内容を発表する技能を身につけている。また、野菜とくだものの違いについての情報を紹介する文章を書く。 ・ 「健康維持とストレス軽減の最善の方法」についての自分の考えを理由とともに伝え、相手の質問に答えたりしようとしている。	○	○	○

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点		
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主
	3	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 人や物について説明する (who, which)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の意味と用法を理解し、日本人ノーベル賞受賞者についてやりとりをし、その内容を発表する技能を身につけている。また、自分の尊敬する人についての情報や考えを述べる文章を書く。 ・「AIは社会にとって有益だ」という論題についての自分の考えを理由とともに伝え、相手の質問に答えたりしようとしている。 	○	○	○
				○	○	○